

接着剤の選択、保管・運搬、施工上の注意点

床材の種類や下地の種類、状態、施工場所の環境、施工方法によって使用する接着剤が異なります。
サンプル帳、カタログ、技術資料、施工マニュアル等に基づいて適用接着剤を選定してください。

エマルジョン形接着剤

(ロンセメントエコ、ロンセメントエコスーパー、CP-7L、ロンセメント巾木用、ウォールボンド200)

選択上の注意点



① 施工する床材に適合する接着剤を、サンプル帳、カタログ、技術資料などに記載してある工法仕様に基づいて選定してください。

お願い

- ① 下地の湿気は接着力を低下させます。乾燥していることを確認してから施工してください(高周波容量式水分計(水分計HI-520、HI-520-2)でD.MODE.440未満を目安)。湿っている下地には施工できません。
- ② 粉立ちはないか、表面強度は十分であるかをチェックします。粉立ちは接着性に影響し、せい弱な下地は動荷重で破壊される恐れがあります。こうした接着力を阻害する下地では剥がれ、浮き、反り等の事故を起こすことがありますので使用しないでください。

保管・運搬上の注意点

お願い

- ① 保管にあたっては、容器が密閉されて漏れのないことを確かめ、直射日光の当たらない場所で、5~35℃で保管してください。低温になる場所で保管し、凍結させますと変質、分離を起こし、使用不能となる可能性があります。
- ② 運搬にあたっては、容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように荷崩れ防止を確実に行ってください。
- ③ 一旦出した接着剤を缶に戻すことは避けてください。開缶後の接着剤は残さず使い切ることを原則としますが、保管する場合はフタをしっかりと締めて密閉することを確認の後行ってください。フタや口金に変形して密閉できない場合は保管できません。
- ④ 接着剤には有効期間があります。有効期間内にご使用ください。

施工上の注意点



- ① 使用の前に接着剤容器の表示事項、技術資料などをよくお読みください。
- ② 保護具着用
使用時は、規定のマスク・保護眼鏡・保護手袋を着用してください。
- ③ 使用中、誤って目に入った場合は、清浄な水で15分以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受けてください。
- ④ 子供注意
子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑤ 中身を使い切ってから廃棄してください。
- ⑥ 投棄禁止
使用済み容器等を廃棄する場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。焼却すると臭気、有害ガスを発生する場合がありますので焼却はしないでください。梱包ケース等を焼却する場合は、都道府県条例に基づき焼却処分してください。
- ⑦ 取扱い後は、手洗い、うがい、洗面を十分に行ってください。
- ⑧ 接着用途以外には使用しないでください。

お願い

- ① 下地に水分が含まれていると接着力を低下させ、かつ水蒸気により局部的な床仕上げ材の膨れを招きます。下地の水分は高周波容量式水分計(水分計HI-520、HI-520-2)でD.MODE.440未満を目安とします。
- ② 所定の接着力を発揮させるために、下地の強度、平滑度、不陸等を確認してください。レイトランス、突起物、油污れ、塗料、ゴミ等をケレン除去し、下地面をきれいに掃除してください。剥がれ、浮き等の原因となり、床シート、床タイルの耐久性に影響を与えます。
- ③ 上澄み液が分離している場合があります。使用前によく攪拌してからご使用ください。
- ④ 接着剤の塗布は、ロンシール指定のクシ目ゴテまたは塗布方法で均一に塗布してください。一回の塗布面積は張り付け可能時間以内に床シート、床タイルが張り終える面積としてください。
- ⑤ 所定のオープンタイムを取ってから床シート、床タイルを張り始め、張り付け後はローラー等で十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、床シート、床タイルの剥がれ、浮き等を起こす可能性があります。
- ⑥ 接着剤が十分に硬化するまでは、水洗い、急激な温度変化、什器や重量物の移動は避けてください。剥がれ、突き上げ、膨れ等が発生させる可能性があります。
- ⑦ 容器からこぼれないように作業を行ってください。こぼした場合は、速やかに拭き取ってください。

エポキシ樹脂系溶剤形接着剤 (ロンセメントEP-200N、ロンセメントパワーエポ)

選択上の注意点



- ① エポキシ樹脂系溶剤形接着剤には有機溶剤が含まれています。労働安全衛生法、消防法によって使用方法、保管量に制限があります。各法令・法規をご確認ください。
- ② 施工する床材に適合する接着剤を、サンプル帳、カタログ、技術資料などに記載してある工法仕様に基づいて選定してください。

お願い

- ① 下地の湿気は接着力を低下させます。乾燥していることを確認してから施工してください(高周波容量式水分計(水分計HI-520、HI-520-2)でD.MODE.620未満を目安)。湿っている下地には施工できません。
- ② 粉立ちはないか、表面強度は十分であるかをチェックします。粉立ちは接着性に影響し、せい弱な下地は動荷重で破壊される恐れがあります。こうした接着力を阻害する下地では剥がれ、浮き、反り等の事故を起こすことがありますので使用しないでください。
- ③ 金属下地の場合、凹凸(ビス頭、溶接部など)や接着の妨げとなる油、サビが発生していないかをチェックしてください。鉄板下地の場合は必ず防錆塗料を塗布する必要がありますが、油性塗料、シアナミド鉛ペイントなど、種類によっては接着剤の溶剤で侵されるものがあるため、注意してください。

保管・運搬上の注意点



- ① 火気厳禁
エポキシ樹脂系溶剤形接着剤は含有する有機溶剤の引火による火災の危険性があるため、一箇所の貯蔵限度量が溶剤の種類や引火性の程度別に規制されています。少量危険物取扱所の規制を受けますので記載以上の数量を保管する場合は、所轄消防署および所轄消防署長の承認が必要です。なお、少量危険物取扱所の規制を受ける貯蔵量限度の範囲は以下の通りです。
一箇所での貯蔵限度
・ロンセメントEP-200N…10セット/20kg缶セット、33セット/6kg缶セット
・ロンセメントパワーエポ…10セット/20kg缶セット
第4類第1石油類
危険等級II
- ② 運搬は消防法、船舶安全法などの法令に従ってください。また保管にあたっては消防法の集積制限に注意してください。

お願い

- ① 保管にあたっては、容器が密閉されて漏れないことを確かめ、直射日光の当たらない場所で、5~35℃で保管してください。35℃以上の高温になる場所で保管すると変質、分離を起こし、使用不能となる可能性があります。
- ② 運搬にあたっては、容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように荷崩れ防止を確実に行ってください。
- ③ 一旦出した接着剤を缶に戻すことは避けてください。開缶後の接着剤は残さず使い切ることを原則としますが、保管する場合はフタをしっかりと締めて密閉することを確認の後行ってください。また、1週間以内に使い切るようにしてください。フタや口金に変形して密閉できない場合は保管できません。
- ④ 接着剤には有効期間があります。有効期間内にご使用ください。

施工上の注意点



- ① 使用前に接着剤容器の表示事項、技術資料などをよくお読みください。
- ② 火気厳禁・有害性
有機溶剤を含んでおりますので、消防法および労働安全衛生法の法令に従って火気厳禁とします。有機溶剤は引火しやすく、また多量に摂取すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
- ③ 保護具着用
皮膚に触れるとかぶれたり、気化した溶剤を吸引したりすると健康障害をきたす恐れがあります。使用時は、規定のマスク・保護眼鏡・保護手袋を着用してください。
- ④ 取扱いは換気のよい場所で行い、特に室内で使用する場合は、換気を行って使用してください。
- ⑤ 使用中、誤って目に入った場合は、清浄な水で15分間以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受けてください。
- ⑥ 子供注意
子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑦ 混合禁止
指定された以外の材料と混合しないでください。
- ⑧ 中身を使い切ってから廃棄してください。
- ⑨ 投棄禁止
使用済み容器等を廃棄する場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。焼却すると臭気、有害ガスを発生する場合がありますので焼却はしないでください。梱包ケース等を焼却する場合は、都道府県条例に基づき焼却処分してください。
- ⑩ 取扱い後は、手洗い、うがい、洗面を十分に行ってください。
- ⑪ 接着用途以外には使用しないでください。

お願い

- ① 下地に水分が含まれていると接着力を低下させ、かつ水蒸気により局所的な床仕上げ材の膨れを招きます。下地の水分は高周波容量式水分計(水分計HI-520、HI-520-2)でD.MODE.620未満を目安とします。
- ② 所定の接着力を発揮させるため、施工の前に下地の強度、平滑度、不陸等を確認してください。レイタンス、突起物、油污、塗料、ゴミ等をケレン除去し、下地面をきれいに掃除してください。剥がれ、浮き等の原因となり、床シート、床タイルの耐久性に影響を与えます。
- ③ 主剤および硬化剤とも上澄みが分離していることがありますので、それぞれ均一になるように別々のヘラで十分に攪拌してください。
- ④ 反応硬化タイプで主剤と硬化剤からなる二液混合型であるため、二液を一定比(等量)で均一に混合して使用してください。
- ⑤ 主剤、硬化剤の混合は、別容器の中で正しく行ってください。不均一な混合や下地での混合は、着剤不良を招き、施工後床材を変色させることがあります。
- ⑥ 接着剤の塗布は、ロンシール指定のクシ目ゴテで均一に塗布してください。一回の塗布面積は張り付け可能時間以内に床シート、床タイルが張り終える面積としてください。
- ⑦ 所定のオープンタイムを取ってから床シート、床タイルを張り始め、張り付け後はローラー等で十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、床シート、床タイルの剥がれ、浮き等を起こす可能性があります。
- ⑧ 接着剤が十分に硬化するまでは、水洗い、急激な温度変化、什器や重量物の移動は避けてください。剥がれ、突き上げ、膨れ等を発生させる可能性があります。
- ⑨ 容器からこぼれないように作業を行ってください。こぼした場合は、速やかに拭き取ってください。

接着剤の選択、保管・運搬、施工上の注意点

ウレタン樹脂系溶剤形接着剤（ロンセメントUL）

選択上の注意点



- ① ウレタン樹脂系溶剤形接着剤には有機溶剤が含まれています。労働安全衛生法、消防法によって使用方法、保管量に制限があります。各法令・法規をご確認ください。
- ② 施工する床材に適合する接着剤を、サンプル帳、カタログ、技術資料などに記載してある工法仕様に基づいて選定してください。

お願い

- ① 下地の湿気は接着力を低下させます。乾燥していることを確認してから施工してください（高周波容量式水分計〈水分計HI-520、HI-520-2〉でD.MODE.620未満を目安）。湿っている下地には施工できません。
- ② 粉立ちはないか、表面強度は十分であるかをチェックします。粉立ちは接着性に影響し、弱い下地は動荷重で破壊される恐れがあります。こうした接着力を阻害する下地では剥がれ、浮き、反り等の事故を起こすことがありますので使用しないでください。
- ③ 金属下地の場合、凹凸（ビス頭、溶接部など）や接着の妨げとなる油、サビが発生していないかをチェックしてください。鉄板下地の場合は必ず防錆塗料を塗布する必要がありますが、油性塗料、シアナミド鉛ペイントなど、種類によっては接着剤の溶剤で侵されるものがあるため、注意してください。

保管・運搬上の注意点



- ① 火気厳禁
ウレタン樹脂系溶剤形接着剤は含有する有機溶剤の引火による火災の危険性があるため、一箇所の貯蔵限度量が溶剤の種類や引火性の程度別に規制されています。少量危険物取扱所の規制を受けますので記載以上の数量を保管する場合は、所轄消防署および所轄消防署長の承認が必要です。なお、少量危険物取扱所の規制を受ける貯蔵量限度の範囲は以下の通りです。
一箇所での貯蔵限度
ロンセメントUL・・・・・・・・・・・・・・ 55缶／18kg缶
第2類引火性固体
危険等級III
- ② 運搬は消防法、船舶安全法などの法令などに従ってください。また保管にあたっては消防法の集積制限に注意してください。

お願い

- ① 保管にあたっては、容器が密閉されて漏れないことを確かめ、直射日光の当たらない場所で、5～35℃で保管してください。35℃以上の高温になる場所で保管すると変質、分離を起こし、使用不能となる可能性があります。
- ② 運搬にあたっては、容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように荷崩れ防止を確実に行ってください。
- ③ 一旦出した接着剤を缶に戻すことは避けてください。開缶後の接着剤は残さず使い切ることを原則としますが、保管する場合はフタをしっかりと締めて密閉することを確認の後行ってください。また、1週間以内に使い切るようにしてください。フタや口金に変形して密閉できない場合は保管できません。
- ④ 接着剤には有効期間があります。有効期間内にご使用ください。

施工上の注意点



- ① 使用前に接着剤容器の表示事項、技術資料などをよくお読みください。
- ② 火気厳禁・有害性
有機溶剤を含んでおりますので、消防法および労働安全衛生法の法令に従って火気厳禁とします。有機溶剤は引火しやすく、また多量に摂取すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
- ③ 保護具着用
皮膚に触れるとかぶれたり、気化した溶剤を吸引したりすると健康障害をきたす恐れがあります。使用時は、規定のマスク・保護眼鏡・保護手袋を着用してください。
- ④ 取扱いは換気の良い場所で行い、特に室内で使用する場合は、室内の換気を行い使用してください。
- ⑤ 使用中、誤って目に入った場合は、清浄な水で15分以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受けてください。
- ⑥ 子供注意
子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑦ 中身を使い切ってから廃棄してください。
- ⑧ 投棄禁止
使用済み容器等を廃棄する場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。焼却すると臭気、有害ガスを発生する場合がありますので焼却はしないでください。梱包ケース等を焼却する場合は、都道府県条例に基づき焼却処分してください。
- ⑨ 取扱い後は、手洗い、うがい、洗面を十分に行ってください。
- ⑩ 接着用途以外には使用しないでください。

お願い

- ① 下地に水分が含まれていると接着力を低下させ、かつ水蒸気により局部的な床仕上げ材の膨れを招きます。下地の水分は高周波容量式水分計（水分計HI-520、HI-520-2）でD.MODE.620未満を目安とします。
- ② 所定の接着力を発揮させるために、下地の強度、平滑度、不陸等を確認してください。レイタンス、突起物、油污、塗料、ゴミ等をケレン除去し、下地面をきれいに掃除してください。剥がれ、浮き等の原因となり、床シート、床タイルの耐久性に影響を与えます。
- ③ 上澄み液が分離している場合があります。使用前によく攪拌してからご使用ください。
- ④ 接着剤の塗布は、ロンシール指定のクシ目ゴテで均一に塗布してください。一回の塗布面積は張り付け可能時間以内に床シート、床タイルが張り終える面積としてください。
- ⑤ 所定のオープンタイムを取ってから床シート、床タイルを張り始め、張り付け後はローラー等で十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、床シート、床タイルの剥がれ、浮き等を起こす可能性があります。
- ⑥ ウレタン樹脂系接着剤の含有溶剤は、床仕上げ材に浸透しやすく、オープンタイムの取り方が短か過ぎると、床仕上げ材を伸ばし、突き上げをおこす可能性があります。適切なオープンタイムの取り方に配慮してください。
- ⑦ 接着剤が十分に硬化するまでは、水洗い、急激な温度変化、什器や重量物の移動は避けてください。剥がれ、突き上げ、膨れ等が発生させる可能性があります。
- ⑧ 容器からこぼれないように作業を行ってください。こぼした場合は、速やかに拭き取ってください。

ニトリルゴム系溶剤形接着剤（プルーフセメントNR）

選択上の注意点



- ① ニトリルゴム系溶剤形接着剤には有機溶剤が含まれています。労働安全衛生法、消防法によって使用方法、保管量に制限があります。各法令・法規をご確認ください。
- ② 施工する床材に適合する接着剤を、サンプル帳、カタログ、技術資料などに記載してある工法仕様に基づいて選定してください。

お願い

- ① 下地の湿気は接着力を低下させます。乾燥していることを確認してから施工してください（高周波容量式水分計〈水分計HI-520、HI-520-2〉でD.MODE.620未満を目安）。湿っている下地には施工できません。
- ② 粉立ちはないか、表面強度は十分であるかをチェックします。粉立ちは接着性に影響し、せい弱な下地は動荷重で破壊される恐れがあります。こうした接着力を阻害する下地では剥がれ、浮き、反り等の事故を起こすことがありますので使用しないでください。
- ③ 金属下地の場合、凹凸（ヒズ頭、溶接部など）や接着の妨げとなる油、サビが発生していないかをチェックしてください。鉄板下地の場合は必ず防錆塗料を塗布する必要がありますが、油性塗料、シアナミド鉛ペイントなど、種類によっては接着剤の溶剤で侵されるものがあるため、注意してください。

保管・運搬上の注意点



- ① 火気厳禁
ニトリルゴム系溶剤形接着剤は含有する有機溶剤の引火による火災の危険性があるため、一箇所の貯蔵限度量が溶剤の種類や引火性の程度別に規制されています。少量危険物取扱所の規制を受けますので記載以上の数量を保管する場合は、所轄消防署および所轄消防署長の承認が必要です。なお、少量危険物取扱所の規制を受ける貯蔵量限度の範囲は以下の通りです。
一箇所での貯蔵限度
プルーフセメントNR
12缶／15kg缶
第4類第1石油類
危険等級II
- ② 運搬は消防法、船舶安全法の法令などに従ってください。また保管にあたっては消防法の集積制限に注意してください。

お願い

- ① 保管にあたっては、容器が密閉されて漏れないことを確かめ、直射日光の当たらない場所で、5～35℃で保管してください。35℃以上の高温になる場所で保管すると変質、分離を起こし、使用不能となる可能性があります。
- ② 運搬にあたっては、容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように荷崩れ防止を確実に行ってください。
- ③ 一旦出した接着剤を缶に戻すことは避けてください。開缶後の接着剤は残さず使い切ることを原則としますが、保管する場合はフタをしっかりと締めて密閉することを確認の後行ってください。また、1週間以内に使い切るようにしてください。フタや口金に変形して密閉できない場合は保管できません。
- ④ 接着剤には有効期間があります。有効期間内にご使用ください。

施工上の注意点



- ① 使用前に接着剤容器の表示事項、技術資料などをよくお読みください。
- ② 火気厳禁・有害性
有機溶剤を含んでおりますので、消防法および労働安全衛生法の法令に従って火気厳禁とします。有機溶剤は引火しやすく、また多量に摂取すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
- ③ 保護具着用
皮膚に触れるとかぶれたり、気化した溶剤を吸引したりすると健康障害をきたす恐れがあります。使用時は、規定のマスク・保護眼鏡・保護手袋を着用してください。
- ④ 取扱いは換気のよい場所で行い、特に室内で使用する場合は、換気を行って使用してください。
- ⑤ 使用中、誤って目に入った場合は、清浄な水で15分以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受けてください。
- ⑥ 子供注意
子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑦ 中身を使い切ってから廃棄してください。
- ⑧ 投棄禁止
使用済み容器等を廃棄する場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。焼却すると臭気、有害ガスを発生する場合がありますので焼却はしないでください。梱包ケース等を焼却する場合は、都道府県条例に基づき焼却処分してください。
- ⑨ 取扱い後は、手洗い、うがい、洗面を十分に行ってください。
- ⑩ 接着用途以外には使用しないでください。

お願い

- ① 下地に水分が含まれていると接着力を低下させ、かつ水蒸気により局部的な床仕上げ材の膨れを招きます。下地の水分は高周波容量式水分計〈水分計HI-520、HI-520-2〉でD.MODE.620未満を目安とします。
- ② 所定の接着力を発揮させるため、下地の強度、平滑度、不陸等を確認してください。レイタンス、突起物、油污れ、塗料、ゴミ等をケレン除去し、下地面をきれいに掃除してください。剥がれ、浮き等の原因となり、床シート、床タイルの耐久性に影響を与えます。
- ③ 上澄み液が分離している場合があります。缶を振るなどして、使用前によく攪拌してからご使用ください。
- ④ 接着剤の塗布は、ロンシール指定のクシ目ゴテまたは毛バケで均一に塗布してください。一回の塗布面積は張り付け可能時間以内に床シート、床タイルが張り終える面積としてください。
- ⑤ 所定のオープンタイムを取ってから床シート、床タイルを張り始め、張り付け後はローラー等で十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、床シート、床タイルの剥がれ、浮き等を起こす可能性があります。
- ⑥ 接着剤が十分に硬化するまでは、水洗い、急激な温度変化、什器や重量物の移動は避けてください。剥がれ、突き上げ、膨れ等が発生させる可能性があります。
- ⑦ 容器からこぼれないように作業を行ってください。こぼした場合は、速やかに拭き取ってください。